

モイマン。リンデ。ケルシニンシユタイナー。の學說が喋々さるゝに至つた。殆ど内地同様の發達を呈した琉球教育の現状を目標しては過去數百年の傳統ある文化乃至教育が効果ある水底の棄石となつて横はつてゐる事を思はざるを得ないのである。

(終り)

(本稿に叙述せる史實に就ては沖縄圖書館長伊波文學士、同館員眞境名氏の援助に候つものが多い、是に感謝の意を表して置きたい)

## 彙報

一一八

### 心理學讀書會例會

十一月十八日、午後三時より實驗場内演習室に於て、開會左の二氏の講演ありたり、

○教育と心理學との關係

福富一郎君

○宗教的意識の心理的要素

石神徳門君

福富氏の講演の大意は左の如くである。

發表者は其最初に於て、此報告が自分も満足する事は出来ない粗笨な見渡しに過ぎないと、尙此後一層根本的に考察せんとする意志ある事とを斷つた。其内容は二部に分れ、(一)現今教育者の心理學に對する態度を觀察し、(二)教育と心理學との交渉如何を決定する爲めに、兩者の關係を否定する見解を吟味し、其議論中から教育心理學の性質を誘導し併せて教育實際家の之に對する態度を論じた。(一)此態度には二種あつて、一は、心理學の教育に對する價値を過大視し其結果心理學に信賴し過ぎるもので、他の一は心理學を蔑視し無用視するものである。前者は、ライに提唱せられマイモンによつて高調せられ、後獨、佛、殊に米國に於て盛に研究せられてゐる。實驗教育學並びに教育作業の心理學的研究に對する、教育實際家の反對である。即ちゼエムスの『教師への警告』は能く之を辯じてゐる。後者の態度を取るものには大體四種ある。一は教育思想界には一時流行的思想と教育の實驗的心理學的研究とを同視するもの、第二は、心理學上の智識が教育學に對して畢竟

無用なる事を覺つたもの、第三は初めより心理学を研究せずして輕蔑するもの、第四は心理学を以て直接教育に無關係なりと言ふ、忠實なる教育實際家の考である。

(二)心理学の教育に對する價值を疑ひ之れを無視するもの、第一は、教育を以て時代と共に變遷するものと考へる教育一面の性質を恰も、教育全體の特質なるが如く誤信したるものである。第二のものに對しては、發表者は、エルトンの『教育心理』第一章を引いて、之等の人が眞に研究せずして徒らに卑賤なる勞働者に自己を墮せしめるものであると論じた。第三のもの即ち初めから無視するものに對して論じて曰く、教育は全人格と全人格との交渉にして、生きた生命の發展であるからして、科學的分析の到底窺ひ得ざるものである。其根柢を爲すものは哲學上の一種の直觀說である。教育者の兒童に對する立場は、外から傍觀する前者の立場でなく、そのものゝ中に入つて實感する後者の立場である。然し此實感是一種の心理學的事實であるから、人格全體の交渉と言ふ事も、心理學的に研究せらるべきものであると。第四のもの即ち心理学は直接教育に無關係なりと言ふ說、即ち教育者に直接必要な事は、教育の實際の法案に熟達する事であつて、此法案が心理学から來ても、他の科學から來ても何等問ふ處では無いと言ふ說に對しては、發表者はタロツクの『教師の訓練に於ける心理学の位置』を引いて論破した。

要するに發表者の主張の根柢は略ぼ次の如きものである。即ち教育の目的、理想は、教育心理学の興る處では無い。教育心理学はたゞ教育の實際的方面に拂はるものである。然し心理学は教育

實際上の方法及び原理を與へるものではない。教育實際の原理は、内容のない空虚なものである。この原理に内容を與へるものは教育心理学の研究である。教育實際の方法は教育者其の人の工夫にある。この工夫に暗示を與へるものは教育心理学の研究である。尙石神氏の分は次回の完結を待て紹介する事とする。

## 新著紹介

法華經行者日蓮

文學博士 姉崎 正 治著

本書四篇廿八章「發端」に始まり一生の序文たる「開教と奮進」及び正宗分たる「弘通の中心事業」とを中に挟んで流通分たる「身延隱遁と滅後の付屬」を以て結ばれてある。今先づその卷章節目を追て本書の一斑を紹介し最後に私の所感を記して見よう。

人の天性には宗教的要求があつて心理学上所謂轉心機に際しては各自が享受しつゝある生命の根源をつきとめ現實に營みつゝある生活の中に眼前紛々の現相を超えて更に弘遠なる生々々々の消息を明かにせうとするものである、時は嘉禎の昔安房國清澄の寺虚空藏堂曙の空の薄明り碧い中に一心不亂の祈念、これ生年十六歳轉心機の蓮長が八宗九宗混沌たる間に「日本一の智者」となりて眞佛教を極めんとし「煩悶の血潮」を流した祈念であつた(第一章)、世は末法に入て二百年に垂んとして居る、平安四百年の王朝は破れて世は武人の世となつた、然し平安以來の眞言佛教は深く弘くその根を張つて居る、之に對して宗教改革の要求は諸種の方面に於て新運動を生じた、念佛と禪とはこの主導となり戒律の